

**平成28（2016）年度  
研究、教育、社会・学会（研究会）活動報告書**

## 1. 研 究（本年度のみ）

教員氏名 (ローマ字)	山 岸 忠 (Yamagishi Tadashi)		職 位	特別任用 常勤講師	学 位	学士（教育）
専門分野		英語教育				
研究課題	テーマ	大学生の英語のリメディアル教育について				
	概要	大学での英語学習の基礎基本の確認と定着及び英語能力の向上				
本年度 研究業績	研究テーマ					
	経過と到達点					

## (1) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
①単著書				
②共著書				
③単訳書				
④共訳書				

## (2) 論文 等

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
⑤査読付 論文					
⑥紀要論文					
⑦研 究 ノート					
⑧翻 訳					
⑨資 料					
⑩調査報告					
⑪被引用 (他文献)					

(3) 第三者（文部科学省、経営団体、企業 等）により認証された研究

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑫単独研究				
⑬共同研究 (代表)				
⑭共同研究 (代表以外)				

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義		大学総合学習Ⅰ・Ⅱ
	演習	総合基礎英語A	英語フォローアップ 編入対策英文読解
	実習		
教育内容・方法 の工夫	<p>◆ 講義科目 近い将来社会に出る学生に日本語表現に関わって、敬語・手紙の書き方等、社会人として役立つ実践的な課題に自ら考えながら取り組ませた。加えて言語に焦点を当てる観点から、英語で書かれた時事問題等の新聞記事等を読ませ外国語への関心を高めた。また、実際様々な職業に就いている若者たちの姿をDVDで視聴し、社会人としての生き方及び職業について考えさせる機会とした。</p>		
	<p>◆ 演習科目 大学で学んでいく上で、必要な英語の基礎基本及びその学習方法等について授業を通して学べる内容を設定した。その際に実用英語を念頭に音声重視リスニング・リーディングを多く取り入れた。また、編入を希望する学生に向けては、実際の過去問題に繰り返し当たることによって自らその傾向を把握し、どのような学習が必要かを自ら考える機会を提供し、自らの力で目標に向かって学習できる動機づけとなる演習を目指した。</p>		
	<p>実習科目</p> <p>◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。） 教科書の使用を基本とし、学生諸君には常に教科書を中心とした学習を指導したが、学生が主体的に学習できるように適宜プリントを作成し効果的に活用した。 また、メディアを効果的に使用するよう努め、視覚・聴覚に効果的に訴えて学習効果が上がるようにした。</p>		

### 3. 社会・学会（研究会）活動 等（本年度のみ）

#### （1）社会活動

分 類		活動・講演の概要
①地域研究活動	代表	
	理事	
	幹事	
②講演（教育機関・企業等）	学外	
	学内	
③シンポジウム等の企画 （教授会承認事項／1本）		

#### （2）学会（研究会）活動

分 類		活動・講演の概要（時期）
④学会運営	代表	
	理事	
	幹事	
⑤学会報告		
⑥司会・コメンテーター		
⑦第三者認証研究会 運営		
⑧第三者認証研究会 報告		
⑨一般研究会 運営		
⑩一般研究会 報告		
⑪本学経営情報学会 報告		2017年3月「現在の本学における英語教育の課題について」

### 4. 特記事項（本年度のみ）

--